

2022年7月4日

各 位

一般社団法人日本経済団体連合会  
副会長・事務総長 久保田 政一

## 本年7月以降の渡航先の感染症危険レベルの見直しについて

新型コロナウイルス感染症の状況は、国・地域により異なるものの、世界全体としてはワクチン接種が進展してきている国々を中心に、死亡・重症化リスクの低下が見られます。こうした動き等を踏まえ、政府は、各国・地域における感染状況、ワクチン接種状況、感染症対策・医療体制、各種施策の状況等、各国・地域の実情を総合的に勘案した上で、今般、感染症危険情報レベルを見直しました。

具体的には、海外渡航の際の渡航先の感染症危険レベルを見直し、特に7月から新たに34カ国についてレベル2「不要不急の渡航をやめてください」からレベル1「十分注意してください」に変更し、従前措置した国と併せて計70カ国・地域をレベル1とすることが発表されております。

詳細は下記の政府ウェブサイトでご確認ください。

経団連は、科学的・合理的な感染防止対策を講じながら、社会経済活動の活性化に努め、新型コロナの出口戦略の策定・実行を求めてまいります。

### 記

#### ○ 感染症危険情報レベルの引下げ

外務省海外安全ホームページ(2022年7月1日)

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pchazardspecificinfo\\_2022T062.html#ad-image-0](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pchazardspecificinfo_2022T062.html#ad-image-0)

(参考)7月1日付で、感染症危険情報がレベル2「不要不急の渡航は止めてください」からレベル1「十分注意してください」に引下げられた34カ国

#### (1) アジア・大洋州 (14カ国)

インド、韓国、スリランカ、中国、ネパール、バングラデシュ、ブータン、モンゴル、ラオス、サモア、トンガ、ニウエ、パラオ、マーシャル

#### (2) 中南米 (3カ国)

エルサルバドル、コロンビア、ニカラグア

#### (3) 欧州 (14カ国)

アンドラ、イタリア、オーストリア、キプロス、ギリシャ、スイス、ドイツ、フィンランド、フランス、ベラルーシ、マルタ、ラトビア、リトアニア、リヒテンシュタイン

#### (4) 中東・アフリカ (3カ国)

イラン、セーシェル、モザンビーク

以 上